

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水道事業（用水供給事業）			部局	企業局	課・室	水道事業課
				実施期間	S49～	E-mail	kigyo @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・人口減少に伴う用水供給先における水需要の減少、施設の老朽化の進行
- ・令和17年度以降に予定されている送水幹線の更新に向け、用水事業全体の投資計画を定め、財源の確保が必要
- ・将来にわたり安心・安全な水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成及び広域連携の強化が必要

2 事業目的

- ・用水供給先に安全な水を安定的に届けるため、アセットマネジメントを活用して施設設備の計画的な更新等を実施
- ・近年頻発する大規模災害等に対応して基幹管路の耐震化を実施するとともに、災害発生時における広域連携を強化
- ・水道の基盤強化を図り、水道事業の持続可能な経営体制を構築するため、広域化・広域連携等の取組を推進

3 事業目的を達成するための取組

- ① 未来への投資**
 - ・施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進
施設耐震化（本山浄水場濃縮槽耐震化工事等）
管路耐震化（支線管路耐震化工事）
- ② リスクマネジメント**
 - ・施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進
 - ・片平取水場の取水機能を強化
（取水場改良のための管理道路拡幅工事）
- ③ 地域への貢献・地域との連携**
 - ・持続可能な水道事業確立のため広域化を推進



4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	%	90.0	90.0	→	90.0	→	95.0	△	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、本山浄水場の耐震化を行う。取水口、沈砂池、ろ過地、浄水池、洗浄水槽、濃縮槽等の代替性が無い施設を優先して耐震化を進めている。	
②	管路の耐震適合率	%	95.7	98.8	↗	98.8	→	100.0	△	近年、頻発する大規模地震を踏まえ、管路48.4kmの耐震化を行う。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)				
R7年度	予算案	2月上旬公表予定		0			12.0	
	要求	2,870,918		2,870,918		0		
R6年度	303,143	2,195,512	0	2,498,655		0	13.0	
R5年度	388,998	2,264,519	△ 18,493	2,635,024		0	2,092,219	13.0

事業番号	13 01 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	水道事業（用水供給事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	水道事業（用水供給事業）		2,264,519 千円	2,195,512 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 2,870,918 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接委託	安心・安全な水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化を計画的に推進 本山浄水場老朽化設備更新 1箇所			
2	リスクマネジメントの推進	直接委託	大規模災害等に備え、施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進 管路の耐震化 L（延長） = 1.84km			
3	水道事業の広域化等の推進	直接委託	持続可能な水道事業を確立するため、関係市村との研究会において、広域化・広域連携の検討を推進 松塩地域水道事業広域化研究会実施 3回			